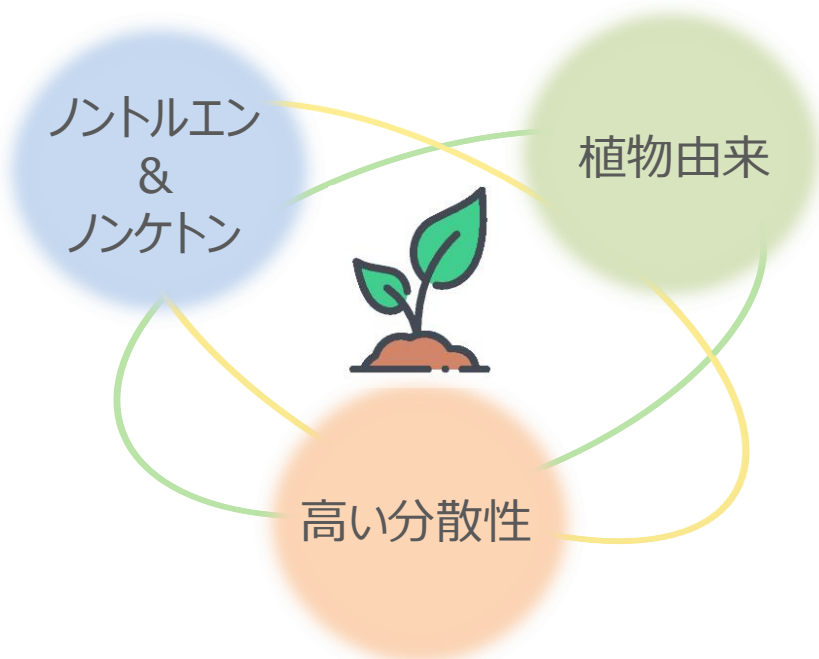


ホモゲノール L-28E

「ホモゲノール L-28E」は
環境に配慮したノトルエン・ノンケトン型の溶剤系分散剤です



☑主な用途と特徴

グラビアインキに

- ・印刷時の帯電防止効果
- ・高い分散性能を発現
- ・版かぶり性の低減

塗料に

- ・塗膜光沢の向上
- ・高い分散性性能を発現
- ・色分かれの防止

※その他溶剤系分散剤としても様々な製品にお使いいただけます。

☑ホモゲノール L-28Eの性質

組成	特殊ポリカルボン酸型高分子界面活性剤
原材料	パーム油・ヤシ油
外観	黄褐色透明液体
固形分	30%
希釈溶媒	酢酸エチル/イソプロピルアルコール(IPA)



☑ホモゲノール L-28Eの特徴

I. 粘度を上げず微粒子化できる分散性能

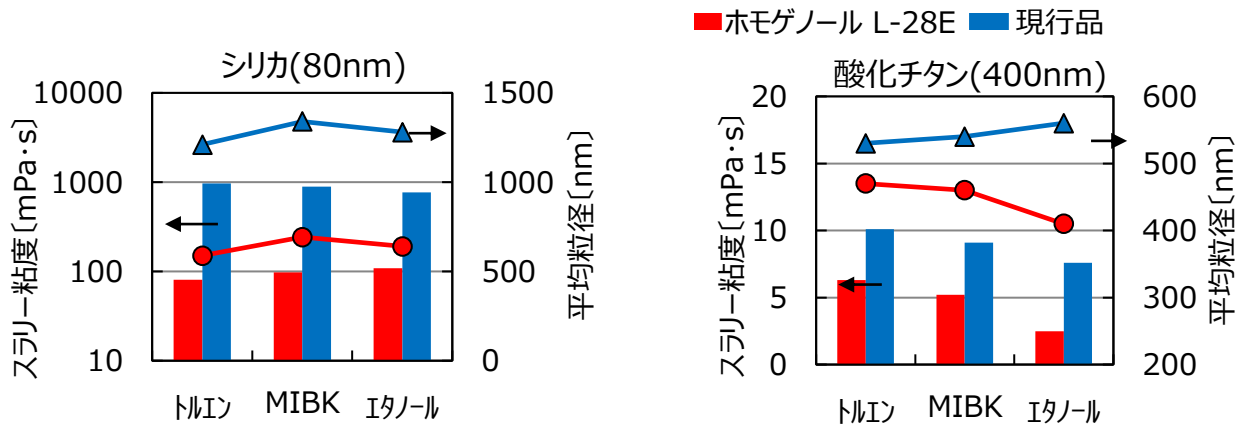


図1. 「ホモゲノール L-28E」で分散した様々な分散体の粒径とスラリー粘度

※測定条件としてスラリー濃度10%、分散体に対して分散剤を5%添加
1 mm径ジルコニアビーズを加え、ペイントシェーカーで3時間処理

環境規制に対応した溶媒を使用している「ホモゲノール L-28E」は、各種分散体に対して**高い分散性と低粘度化**を両立できます。

II. 優れた再分散性が長期保存安定性を実現

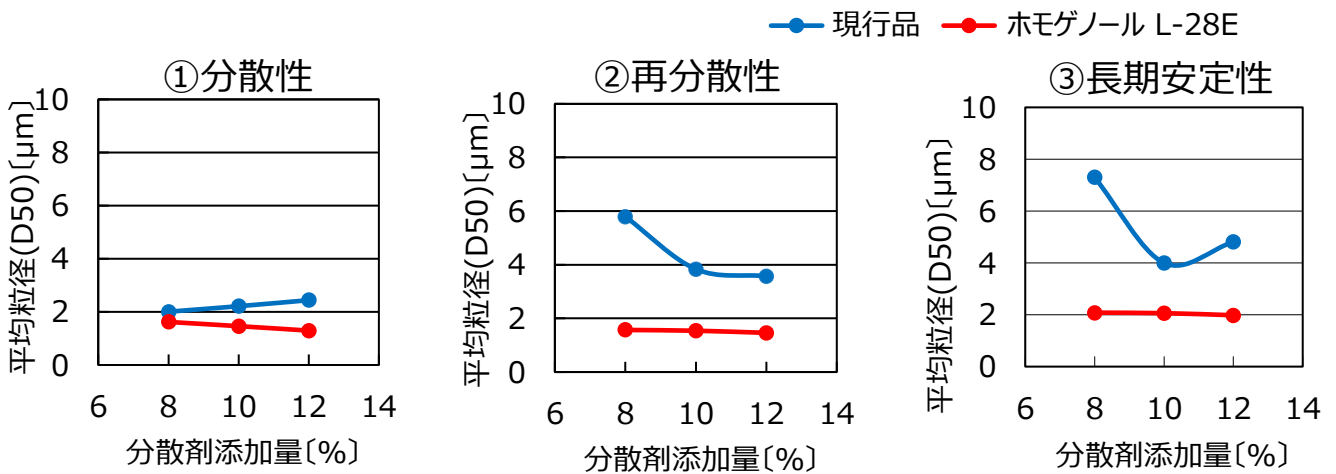


図2. 「ホモゲノール L-28E」で分散したカーボンブラックの粒径

※測定した条件は①直後 (超音波3h分散)、②乾燥後再び分散媒に希釈し測定
③②の加速試験として50°C条件下で7日間保存

「ホモゲノール L-28E」は、安定した印刷を実現するために必要な機能である**再分散性**および**分散安定性**に優れています。

□グラビアインキ用分散剤としてのアピールポイント

I. 幅広い溶媒・分散質に適した分散安定性

分散媒 \ 分散質	TiO ₂	SiO ₂	カーボン ブラック	赤	青	黄	マゼンダ
キシレン	×	×	×	◎	△	◎	×
酢酸エチル /IPA	◎	◎	◎	○	×	○	×
MIBK	○	○	○	◎	×	◎	◎
アセトン	◎	◎	◎	○	◎	×	◎
ブタノール	◎	◎	◎	△	×	×	△
エタノール	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
メタノール	○	○	○	◎	◎	×	×

表1.「ホモゲノール L-28E」の分散性
※分散安定性：◎非常に良好、○良好、△やや不良、×不良

「ホモゲノール L-28E」は様々な分散媒と分散質に対して**優れた分散安定性**を示します。

II. 版かぶり性の低減

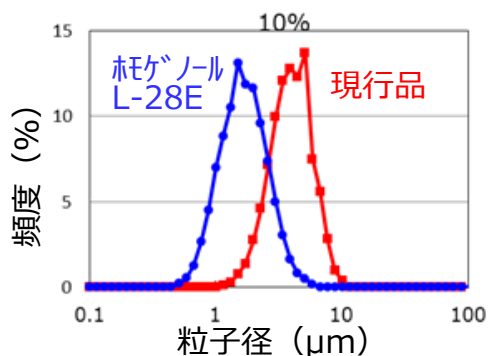


図3. 乾燥後のスラリー再分散性

※スラリーは「顔料＋分散剤」で構成

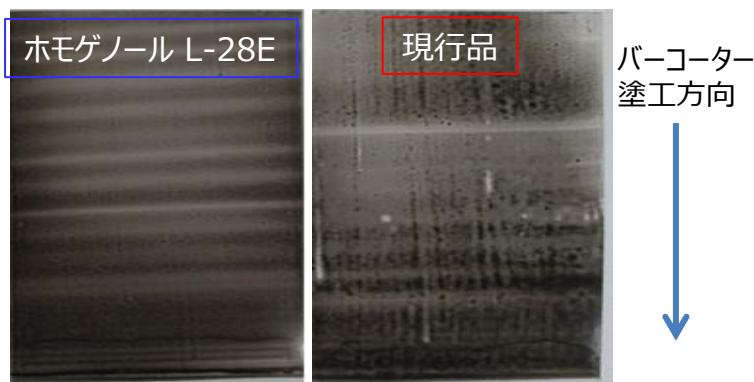


図4. 乾燥後のインキ塗工性

※インキは「顔料＋汎用ウレタン樹脂＋分散剤」で構成

「ホモゲノール L-28E」を用いることでグラビア印刷特有のスジや版かぶりが起こらず**安定した印刷**を可能にすることができます。

花王株式会社 ケミカル事業部門
機能材料事業部 エコプロセスケミカル

東京 〒131-8501 東京都墨田区文花2-1-3

大阪 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-1

URL : <https://chemical.kao.com/jp/>

詳細はメールにてお問い合わせください。 chemical_epc@kao.com



2021/11